

別のパソコンを遠隔で利用する機能を「リモートデスクトップ」と呼ぶ。例えば外出先のモバイルノートから、自宅や会社のパソコンを操作できるようになる。自宅にしかないファイルを編集して保存し、メールで送信するといったこともできるのだ。ビジネスの世界ではよく使われている便利な機能だ。

Windowsには標準でリモートデスクトップ機能が搭載されている。ただし、操作される側のパソコンは、Windows 10 Proなど、「Pro」仕様のOSを搭載している必要がある（操作する側はProでなくても構わない）。そのため、簡単には使えない。

そこでお勧めなのが、「Chrome リモートデスクトップ」だ。無料のWebブラウザ「Chrome」で利用できる。まずは、Chrome上で動作する専用アプリを双方のパソコンにインストールしよう（図1、図2）。接続する側、される側で機能を有効にし（図3、図4）、PINと呼ばれる数字を6桁以上で設定して、操作する側のパソコンで入力すればよい（図5、図6）。

接続が確立すると、デスクトップ上に別のパソコンのデスクトップを表示するウィンドウが開く（図7）。これで操作がスタートできる。使い方は普通のWindowsと同じだ。

また、操作する側はパソコンでなくても大丈夫だ。スマホやタブレットからも遠隔で操作できる。自宅に置いた操作される側のパソコンの電源さえ入れておけば、外出先のスマホからも作業できるのだ。

●「Chrome」を使ってパソコンを共有

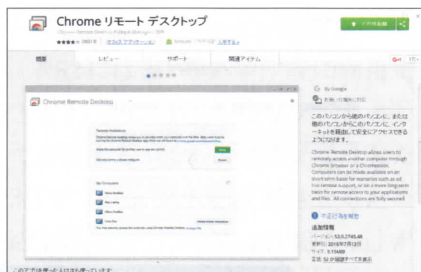


図1 WebブラウザのChromeに「Chromeリモートデスクトップ」をインストールする



図2 Chromeのアプリ一覧に登録される。同じアカウントなら、使う／使われる両方にインストールされる

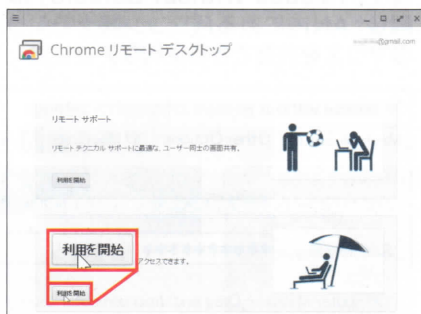


図3 Chromeリモートデスクトップを実行したら「利用を開始」をクリックする

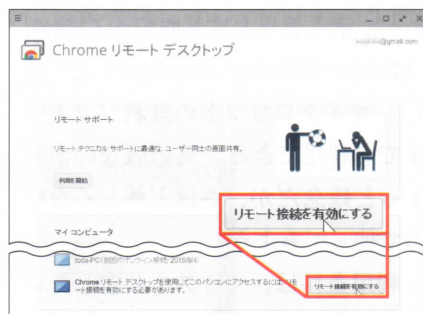


図4 操作される側のパソコンでは「リモート接続を有効にする」をクリックする

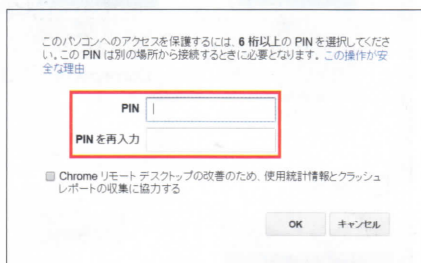


図5 6桁以上の数字でPINを設定する。セキュリティ対策になるので、人に教えないように気をつけること

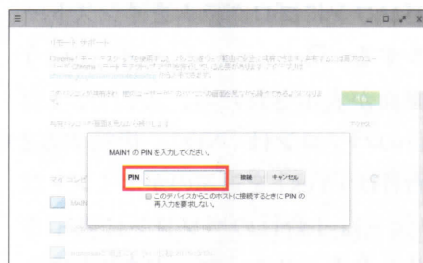


図6 操作する側のパソコンで、操作される側のPINを入力するとリモートでコントロールできる

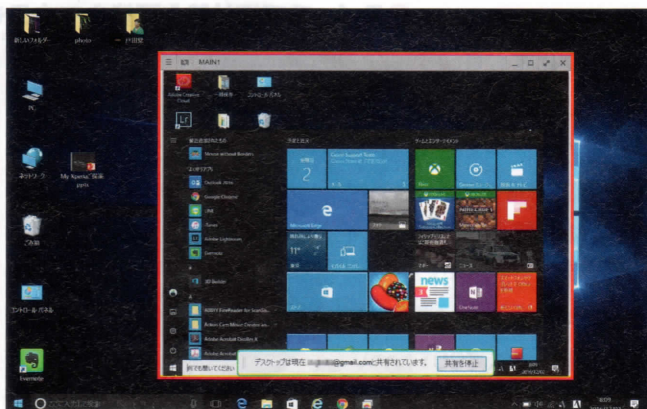


図7 接続したパソコンを遠隔操作できるようになった